

平成27年度  
岩内あけぼの学園

# 事業報告書

社会福祉法人あけぼの福祉会

## 目 次

I. 利用者の状況	P3
1. 入退所状況	P3
①. 岩内あけぼの学園	P3
②. 岩内あけぼの学園通所部	P3
2. 居室と担当職員の状況	P3～4
II. 職員の状況	P5
III. 見学・実習生の受入状況	P5
IV. 研修の状況	P5
1. 職場外研修の状況	P5～7
2. 職場内研修の状況	P8
V. 年間行事の実施状況	P8
VI. 生活支援の状況	P9
1. 各種スポーツ大会等の状況	P9
2. 社会生活活動の実施状況	P9
3. サークルの実施状況	P9
4. 避難訓練の実施状況	P9
5. 建物や設備の整備状況	P10
6. 一泊旅行の実施について	P10
7. 広域避難訓練の実施について	P10
8. グループホーム ラフォーレの支援について	P10
9. 小グループ支援の実施について	P10
10. 記録管理システムについて	P10
11. 利用料収入と支援スタッフの確保について	P10
VII. 食事提供業務の状況	P11
VIII. 健康管理の実施状況	P11
1. 日常生活における予防及び衛生	P11
2. 住環境の清潔と感染性疾患の予防	P11
3. 日常の健康管理	P11
4. 健康診断の実施と各種検診の受診	P11～12
5. インフルエンザ罹患者への対応について	P12
IX. 苦情解決について	P12
X. 日中活動支援の状況	P12
1. 活動グループの状況	P12～13
2. 各活動グループの活動状況	P13
① 生活介護Ⅰグループ	P14
② 生活介護Ⅱグループ	P14
③ 生活介護Ⅲグループ	P14
④ 生活介護Ⅳグループ	P14～15
⑤ 就労継続支援B型	P15

# I. 利用者の状況について

## 1. 入退所状況

### ①. 岩内あけぼの学園、施設入所支援利用者動向

月	現員	施設入所支援状況		異動の状況
		入所	退所	
4	49	3		B・K、I・G、I・H
5	49			
6	49			
7	49			
8	50	1		M・M(GHから入所へ異動)
9	50			
10	50			
11	50			
12	51	1		E・H
1	51			
2	51			
3	51			
合計	600	5	0	

### ②. 岩内あけぼの学園、在宅日中活動利用者動向

月	現員	通所利用状況		異動の状況
		通所	異動	
4	17			
5	17			
6	17			
7	17			
8	16		1	M・M(GHから入所へ異動)
9	16			
10	17	1		K・T
11	17			
12	17			
1	17			
2	17			
3	17			
合計	202	1	1	

## 2. 居室と担当職員の状況(平成 28 年 3 月 31 日現在)

### ① 施設入所支援サービス利用者

利用者名 (男性)	担当職員		利用者名 (女性)	担当職員	
	担当	副担当		担当	副担当
M・Kさん	K・M	F・S	S・Kさん	I・T	K・M
Y・Mさん	K・M	I・T	O・Tさん	I・T	M・A
K・Kさん	M・K	K・H	K・Kさん	T・M	M・K
T・Tさん	M・K	N・S	N・Yさん	K・M	S・M
N・Rさん	M・T	K・T	K・Sさん	F・M	F・I
O・Sさん	M・T	I・T	I・Hさん	F・M	T・M
Y・Tさん	M・T	I・T	N・Kさん	T・M	N・E

M・Tさん	K・T	F・S	N・Hさん	F・I	K・M
B・Kさん	K・T	H・S	W・Hさん	F・I	F・M
I・Gさん	K・T	M・K	Y・Hさん	M・A	S・M
M・Sさん	M・K	M・K	I・Rさん	M・A	T・M
K・Yさん	M・K	N・S	S・Sさん	K・M	I・T
T・Tさん	M・K	N・S	H・Eさん	N・K	S・M
U・Kさん	S・Y	K・T	T・Yさん	S・M	T・M
K・Hさん	S・Y	M・K	K・Sさん	S・M	N・K
A・Sさん	N・S	S・Y	O・Rさん	F・M	I・T
I・Kさん	N・S	H・S	W・Aさん	T・M	M・K
W・Tさん	H・S	M・K	H・Hさん	I・T	N・E
T・Tさん	H・S	M・T	S・Mさん	N・K	M・A
T・Kさん	K・H	K・M	K・Kさん	N・E	F・M
M・Mさん	K・H	M・T	Y・Tさん	N・E	F・I
S・Kさん	F・S	K・H	K・Kさん	K・M	T・M
I・Zさん	F・S	K・M	T・Kさん	M・K	M・A
T・Mさん	I・T	K・H	K・Yさん	M・K	F・M
I・Hさん	I・T	S・Y	E・Hさん	Y・M	I・T
M・Mさん	O・K	M・K			

②通所部（在宅日中活動サービス利用）

利用者名	担当窓口	副担当	利用者名	担当窓口	副担当
N・Tさん	K・H	K・T	M・Hさん	O・K	I・M
Y・Kさん	F・S	M・K	S・Hさん	O・K	I・M
A・Mさん	S・Y	O・K	A・Kさん	O・K	H・S
S・Kさん	M・K	S・Y	A・Tさん	K・M	N・K
K・Yさん	K・H	K・M	N・Tさん	S・E	K・M
S・Yさん	H・S	M・K	D・Hさん	S・M	N・K
H・Yさん	O・K	I・M	S・Yさん	S・E	N・E
S・Kさん	O・K	I・M	M・Mさん	K・M	M・A
			K・Tさん	T・M	F・M

※個人情報の取り扱いにご配慮くださいますようお願いいたします。

<利用区分>

	施設入所支援	合計	備考
施設入所支援利用者	男性 26名 (24名) 女性 25名 (26名)	51名(50名)	・カッコ内は定員
在宅利用者	男性 11名 女性 6名	17名	

## Ⅱ. 職員の状況について

月	職員動向		異動の状況
	採用・異動	退職	
4	1		H・S(採用)
5		1	W・E(退職)
6		1	N・E(退職)
7			
8	1		H・M(採用)
9	1		E・T(採用)
10	1		T・Y(採用)
11			
12	1		K・T(採用)
1			
2			
3	2	2	S・R、M・M(採用) H・K、M・K(退職)
合計	7	4	

## Ⅲ. 見学・実習生の受入状況

月	日	見学・実習生名
8	3	札幌養護学校施設見学
7	20～8/2	経専北海道保育専門学校実習
8	28	特別支援学級交流会
9	18	東小学校交流会
10	22	経専北海道保育専門学校施設見学
〃	29	せたな町社会福祉協議会施設見学
11	10	西小学校交流会

## Ⅳ. 研修の状況

### 1. 職場外研修の実施状況

月	日	研修名	開催地	派遣職員
4	7～8	除雪車両に係る運転講習	北広島市	M・T
	8	平成27年度「かたるべ」打合せ	喜茂別町	I・M
	9	平成27年度 後志知的障がい福祉協会定期総会	小樽市	O・H、I・M、O・K
	16	支援研究委員会	札幌市	I・M
	19	後志知的障がい児・者家族連合会総会	小樽市	O・K
	22	第1回支援研究委員会	小樽市	I・M
	23	第54回全国知的障害福祉関係職員研究大会	札幌市	I・M
	24	かたるべ2015 in 札幌ドーム打合せ	札幌市	I・M
5	30	自閉症援助技術研究会 初任者研修会	札幌市	N・K・S・Y・N・S
	12	支援研究委員会及び権利擁護委員会	札幌市	I・M
	14	平成27年度 第1回「希望の会」	小樽市	I・M

	19~20	平成27年度全道施設長セミナー	札幌市	O・H、M・K
	21	かたるべ2015 in 札幌ドーム	札幌市	I・M・H・S・F・M M・K
	22	支援研究委員会	札幌市	I・M
	29	平成27年度福利厚生センター会員交流事業	倶知安町	M・K
	31	北海道知的障がい児・者家族連合会2015年度	北広島市	S・Y
6	3	法定講習会	岩内町	K・T
	9~10	札幌市自閉症者自立支援センターゆい 札幌市(株)ウェルネス	札幌市	O・H、M・K、K・M、M・K、 A・S、K・M
	10	第3回支援研究委員会	小樽市	I・M
	17	平成27年度接遇講習会	札幌市	K・H
	17~18	相談員従事者研修 前期	札幌市	O・K
	19	障がい児 親の会による施設見学研修会	札幌市	F・M・M・K
	20	総会・環境せっけんセミナー・交流会・地域研修会	岩見沢市	M・K
	22~23	社会福祉法人 北翔会 札幌すぎな園 社会福祉法人 札幌緑花会 花園学院	札幌市	O・H、T・M、K・H Y・A、A・M、T・Y
	24	社会福祉法人妻の子会 事業所見学	札幌市	S・Y
	29~30	平成27年度全国知的障害関係施設長等会議	東京都	O・H
7	8~9	平成27年度北海道強度行動障害支援者養成研修	札幌市	M・K
	9	第4回支援研究委員会	仁木町	I・M
	13~15	平成27年度相談支援従事者研修	札幌市	O・K
	14~15	社会福祉法人 札幌育成園 琴似平和学園 札幌刑務所	札幌市	O・H、T・H、H・S、S・Y、 F・I、M・A、I・T
	18	第15回後志知的障がい福祉協会 希望の会文化祭	仁木町	I・M、M・A・N・K・K・M
	21~22	北海道札幌養護学校 社会福祉法人 聖静学園 石山センター	札幌市	O・H、O・K、F・M K・T、N・S、N・K
	22	支援研究委員会	札幌市	I・M
	28~30	障がい者虐待防止・権利擁護指導者養成講座	札幌市	I・M、M・K
	29	平成27年度権利擁護セミナー	札幌市	M・A
	31	第2回運営研究委員会	岩内町	O・H、I・M
8	3	後志障がい福祉協会職員研修部会	古平町	I・M
	6~7	社会福祉法人 北海道光生会 ライフサポート美唄 社会福祉法人 雪の聖母園	美唄市 月形町	O・H、I・M、N・S、S・M、 M・T、F・S、S・E、M・Y
	19	施設運営事務打ち合わせ	札幌市	O・H、M・K
	21	第5回支援研究委員会	島牧村	I・M
	25~26	除雪車両に係る運転講習	北広島市	S・Y
	27	後志知的障がい福祉協会利用者パークゴルフ大会	倶知安町	I・M、M・K、N・K
	5	みんなあーと2015スタッフ業務	札幌市	I・M
9	10	講演会「発達障がいの特性理解と支援のポイント」	岩内町	M・K、S・Y
	11	平成27年度 第3回「希望の会」	黒松内町	I・M
	14	平成27年度「コミュニケーションセミナー」	札幌市	M・K・F・S
	16	平成27年度指定福祉サービス事業者集団指導講座	倶知安町	N・S
	16~17	北海道知的障がい関係支援員研修Ⅱ	夕張市	I・M、N・S
	19~21	自閉症実践セミナー2015	札幌市	M・A
	25	後志知的障がい福祉協会 権利擁護研修会	岩内町	K・M、S・E
10	2	助成金目録贈呈式	函館市	O・H、H・S
	2	第7回支援研究委員会	寿都町	I・M
	5	平成27年度「リーダーシップセミナー」	札幌市	H・S
	5~7	平成27年度北海道サービス管理責任者研修	札幌市	I・M
	6	岩内保健所感染症講座	岩内町	H・K
	9~10	後志知的障がい福祉協会 社会見学会	札幌市	I・M

	14	北海道余市養護学校	余市町	O・H、M・T、K・H K・S、K・M、T・K
	13～16	全国知的障害福祉関係職員研究大会	高知市	I・M・S・M K・H
	23	後志障がい児・者家族連合会 交流会	小樽市	O・H、I・M
	26	志賀利一先生講演会	小樽市	S・M、M・K
	27	権利擁護委員会	札幌市	I・M
	28	平成27年度医療・栄養支援セミナー	札幌市	A・M
	30	平成27年度 介護・障がい施設職員研修会	倶知安町	F・M、H・S
11	6	北海道知的障がい福祉協会施設入所支援部会研修会 重度障害者支援加算Ⅱに関する研修会	札幌市	I・M
	11	特定非営利活動法人 しりべし地域サポートセンター コミュニティ茶屋	余市町	O・H、H・K、M・A、H・J、 M・K、Y・M、H・H、H・S、 I・T、A・M
	14	後志知的障がい福祉協会 利用者ボウリング大会	小樽市	F・I、M・A
	19	平成27年度 日中活動支援部会職員研修会	札幌市	I・T
	25	清水基金創立50年記念事業	東京都	O・H
	27	年末調整講習会・マイナンバー勉強会	札幌市	T・H
	28	障がい者就労支援フォーラム 2015	岩内町	K・M
12	7	支援研三役会議	喜茂別町	I・M
	11～12	平成27年度後志知的障がい福祉協会職員研修会	小樽市	I・M、K・M、K・M
	18	キャリアパス支援等研修事業 権利擁護セミナー I	伊達市	T・M、K・T
	21～22	北海道障がい者虐待防止・権利擁護研修	札幌市	I・M
1	16	障害者差別解消法学習会	小樽市	S・M
	19	権利擁護委員会	札幌市	I・M
	22	支援研究委員会情報交換会	札幌市	I・M
	26～27	平成27年度幹部職員研修会	札幌市	M・T、F・M
	30	平成27年度地域生活定着支援事業推進会議	札幌市	T・M
2	4～6	強度行動障害支援者養成研修	滋賀県	M・A
	17～18	平成27年度第2回相談支援従事者研修	札幌市	M・K
	19	「希望の会」支援研究委員	仁木町	I・M
	27	札幌市知的障がい福祉協会 職員研修会	札幌市	K・M、S・Y
3	6～7	北海道強度行動障害支援者養成研修	札幌市	H・S
	8～9	北海道障がい者虐待防止権利擁護研修	札幌市	O・H
	14	平成27年度 全道施設長研修会	札幌市	O・H、I・M
	18～19	後志知的障がい福祉協会支援研究委員会	小樽市	I・M
	28	給食従事者研修会	岩内町	A・M

## 2. 職場内研修の実施状況

月 日	テーマ	講師	参加人員
5/14	通報装置の操作手順	K・T	14名
7/10	救急救命士による普通救命講習	岩内町救急救命士	16名
8/25	人材育成とホスピタリティについて	一般社団法人 カラダ研究所代表 田中氏	30名
11/18	権利擁護、強度行動障害について	I・M、M・K	31名
3/22	コミュニケーションについて	特定非営利活動法人 たねっと代表 戸田氏	31名
			合計 122名

## V. 年間行事の実施状況

月	日	行事名	月	日	行事名	
4	1	開園記念日	10	6~7	一泊旅行(北湯沢)	
	21	ランチ会		20	北大歯科検診	
5	15	ドラムサークル		21	広域避難訓練	
	20	ランチ会		27	ランチ会	
	21~22	かたるべ 2015	11	5~6	一泊旅行(札幌)	
	23	胃がん検診		8	女声合唱団リラ演奏会	
	25	クリーンナップ		10	西小学校交流会	
31	日帰り旅行	14		後志利用者ボウリング大会		
6	2	バーベキュー	18	ランチ会		
	16	日帰り旅行	12	7	もちつき	
	23	利用者健康診断		8	交流会	
	29	はばたけ会行事		17	クリスマス会	
	30	北大歯科検診		1	19	利用者健康診断
7	7~9	岩内神社祭り			29	新年会
	15	社会を明るくするパレード	2		3	節分行事
	18	希望の会文化祭			12	バレンタイン行事
	22	ランチ会			25	ランチ会
8	19	バーベキュー		3	3	ひなまつり会
	21	縁日祭	24		ランチ会	
	27	後志パークゴルフ大会	3		3	ひなまつり会
	28	特別支援学級交流会			24	ランチ会
	9	12			和太鼓教室	3
18		東小学校交流会		24	ランチ会	
20		学園祭	3	3	ひなまつり会	
24		ランチ会		24	ランチ会	
30		日本ハムファイターズ試合観戦		3	3	
9	12	和太鼓教室			24	ランチ会
	18	東小学校交流会	3		3	ひなまつり会
	20	学園祭			24	ランチ会
	24	ランチ会		3	3	ひなまつり会
30	日本ハムファイターズ試合観戦	24			ランチ会	

## VI. 生活支援の実施状況

### 1. 各種スポーツ大会等の状況

月 日	大会名	参加利用者、結 果	参加利 用者数
5/21	かたるべ 2015 札幌ドーム	H・Yさん K・Yさん K・Kさん I・Kさん	4名
8/27	平成27年度後志知的障がい福祉協会 利用者パークゴルフ大会	M・Mさん W・Tさん T・Yさん S・Mさん	4名
11/14	平成27年度福祉協会 利用者ボウリング大会	M・Mさん、I・Kさん、N・Kさん K・Kさん	4名

### 2. 社会生活活動について

余暇外出、ビデオ、プール、体育館での軽運動などそれぞれの目的にあわせて活動しました。平成27年度については以下を重点に置き支援いたしました。

#### (1) 社会生活活動の内容について

- ・余暇外出以外にプールや体育館での軽運動など、体を動かす活動に参加できるように支援した。
- ・利用者の方が活動に参加した際に、記録管理システム(クレヨン)へ確実に記録する事で、個別の参加状況を細かく把握できる様に配慮した。

#### (2) 感染症の予防について

- ・インフルエンザ等の感染症の流行時期には集団感染を防ぐため、外出を一時見合わせる、コンビニエンスストアなどを利用して人混みを避けた短時間による買い物を実施するなど配慮した。

### 3. サークルの実施状況

サークル名	実施場所	実施日時	利用者登録	年間実施回数
編み物	施設内	毎月2回	4名	20回
音楽鑑賞友の会	共和町 町民センター	不定期	5名	1回

### 4. 避難訓練の実施状況

月 日	訓練の種類	訓練の内容	利用者参加人数	年間実施回数
5/18	自主訓練	通報訓練・避難訓練	60名	6回
8/17	自主訓練	通報訓練・避難訓練	50名	
10/13	消防訓練	通報訓練・避難訓練・消火訓練	61名	
10/21	広域避難訓練	避難訓練	6名	
10/27	自主訓練	避難訓練	50名	
1/26	自主訓練	通報訓練・避難訓練	63名	
3	未実施	インフルエンザウイルスが蔓延した為、実施できませんでした		

## 5. 建物や設備の整備について

- ・ 多目的ホールの中庭入口に男女兼用の喫煙室を設置した。
- ・ 利用者居室の電灯をすべて LED 電球に交換した。
- ・ 男子棟B棟に車椅子対応の洗面台を大友福祉財団の助成を受けて設置した。
- ・ 岩内町地域交流センター(旧中央小)就労継続B型事業活動予定の教室の一部改修を、函館馬主協会の助成を受けて行った。
- ・ 車いす対応のワゴン車を日本財団の助成を受けて更新した。
- ・ 自閉症(傾向者)の日中活動棟の新設について、清水基金からの採択を受けて平成 28 年度の事業として行う。

## 6. 一泊旅行の実施について

10月と11月に利用者の希望を取りいれながら、二コースに分かれて一泊旅行を実施した。例年通り保護者の参加も募り、家族で楽しい思い出を作ることが出来た。また、健康面から一泊が難しい利用者には別の日程で日帰りでの小旅行を実施した。

## 7. 広域避難訓練の実施について

原子力災害における広域避難訓練を今年度も実施した。法人として協定を締結している伊達市の太陽の園に利用者の代表と職員が参加し、避難先の確認とともに先方の利用者との交流も図った。

## 8. グループホーム ラフォーレの支援について

施設入所支援から地域生活へと移行した男子利用者に対し、スムーズな移行に繋がるようあけぼの学園として出来る限りのバックアップを行った。

## 9. 小グループ支援の実施について

引き続き男女ディールーム2か所と食堂を併せた3箇所での食事の提供を行うことで、日課への流れがスムーズとなり、また精神的に安定した生活を送るようになるなどの良好な面が見られた。来年度以降も継続して取り組むこととする。

## 10. 記録管理システムについて

記録管理システムを活用し、利用者の方の日常生活の状況をきめ細かく把握し記録することを徹底し、そのデータを具体的な支援に活用した。

また、蓄積されたデータを活用しモニタリングやアセスメント(評価)を行ない、利用者の方の個別支援計画(ケアプラン)を策定した。

## 11. 利用料収入と支援スタッフの確保について

国や利用者から支払われる一般的な支援費のほか、重度障がい者支援加算や人員配置体制加算などを活用し、施設の収入財源を確保したうえで、国が定める一定の配置基準以上(今年度実績は利用者 2 名に対して支援スタッフ 1 名以上)の支援スタッフにより、利用者に対する日々の支援サービスを提供することが出来た。

## VII. 食事提供業務の状況

### 1. 選択食、希望食の実施

複数の料理からその場で好きなほうを選択する献立、メニューブックを参考にして自分の食べたい料理を自由にリクエストする希望食を平成 27 年度においても継続して行った。

### 2. 行事食、野外での食事会の実施

毎月のランチ会、岩内祭りのお弁当などの行事食のほか、野外での食事会(炭火でのバーベキュー)を行った。

### 3. 特別食、エネルギー制限食の提供

腎臓疾患、糖尿病の利用者の方への特別食の提供、咀嚼、嚥下が困難である利用者の方への数種類に分けた刻み食の提供、またムセ防止のためのとろみ付けの提供など利用者の方の健康状態に合わせた食事の提供を行なった。

また、個人の年齢、体型、運動量、代謝量などを考え、通常の 1.800kcal の食事のほか、若年層男子の 2.000kcal、さらに 1.600kcal、1.460kcal の食事提供区分を設定し、利用者の方の健康に配慮した。

## VIII. 健康管理の実施状況

### 1. 日常生活における予防及び衛生

- ①生活習慣として、うがい、手洗い及び手指消毒を行った。(洗面所にはアルコール消毒液を常設した。)また、手拭用のタオルを用意し、一回毎一人一枚ずつ使いきるようにし、間接的な感染を防いだ。
- ②入浴時には全身の怪我や皮膚の状態を観察し、異常があれば迅速に対応するよう努めた。

### 2. 住環境の清潔と感染性疾患の予防

- ① 毎週各棟のトイレの消毒、又各月ごとに全館の消毒を行った。更に布団の滅菌、乾燥及びクリーニングを年 2 回(5 月、10 月)に行った。
- ② 温度、湿度の調整(加湿器を購入し、ディールームに設置した。)を心掛けた。

### 3. 日常の健康管理

- ① 検温を毎朝測定し、異常のあるときは通院し、軽易の症状であれば常備薬で対応した。対応した状況については、看護記録に記載するとともに記録システムに詳細な記録をとった。
- ② 全利用者さんを対象に毎週体重測定を行った。
- ③ 50歳以上の方と高血圧で治療をしている方については、毎日血圧測定と血中酸素濃度を測定し、50歳以下の方に対しては、毎月血圧測定を実施した。数値が安定しない利用者の方に対しては健康管理委員会で話し合い、ケース会議、生活支援会議で検討した。また、肥満防止のために、食事量の検討、散歩、近隣の体育館を利用しての運動や体操などを定期的に行った。
- ④ 嚥下困難な利用者の方に対して「健口体操」を継続して行った。また、休日についても取り入れた。
- ⑤ 退勤時、利用者の方の健康状態をチェックした。
- ⑥ インフルエンザの予防接種を行った。

### 4. 健康診断の実施と各種検診の受診

- ① 施設で実施する年 2 回の健康診断の他、岩内町で実施する各種検診(胃癌、乳癌、婦人科検診)を受診し、早期発見に努めた。また、身元引受人の了解を頂き、血液検査による癌検診(血液マーカー検

査)を実施した。

② 北海道大学歯学部との協力をいただき、年2回(6月、10月)の歯科検診と歯磨きの指導を受けた。

### 5. インフルエンザ罹患者への対応について

毎年心配されているインフルエンザであるが、今年度においては2月に女子棟で蔓延し、利用者9名、職員4名の計13名が罹患した。さらに3月に男子棟でも蔓延し、利用者9名、職員4名が罹患した。

感染症対策マニュアルに沿って迅速に対応したが、複数の利用者、職員が感染する結果となった。次年度以降も、対策や予防を徹底する。

## IX. 苦情解決について

今年度は施設内に設置した苦情BOXに、支援方法等に対する苦情や意見は投函されなかった。

また、朝の朝礼や毎月行なう利用者自治会の会議の中で、利用者の方の意見を伺う機会を設けており、利用者間の要望が何点か聞かれ、これについてはその都度対応した。

今年度においても法人の苦情解決第三者委員の方に施設を訪問していただき、12月のクリスマス会、1月の新年会で行事の様子を見ていただき、利用者の方との交流を図っていただいた。

## X. 日中活動支援の状況

日中活動区分	生活介護	就労継続B型	その他	合計	備考
人数	60名	7名	1名 (余市養護学校通学)	68名	入所51名 通所17名

### 1. 日中活動グループの状況について(平成28年3月31日現在)

		平成27年度日中活動編成						
		利用者名			在籍数	運営責任者		
生活介護	生活介護Ⅰ (身体機能維持)	N・Rさん	T・Kさん	M・Tさん	16名	○I・T H・S K・M		
		I・Zさん	S・Kさん	N・Tさん				
		K・Sさん	K・Kさん	Y・Tさん				
		T・Kさん	O・Rさん	S・Kさん				
		O・Tさん	K・Yさん	K・Tさん				
		M・Mさん						
	生活介護Ⅱ (創作活動)	M・Sさん	T・Mさん	K・Kさん	15名	○S・M T・M N・S		
		W・Aさん	H・Eさん	N・Yさん				
		K・Sさん	D・Hさん	A・Tさん				
		W・Hさん	S・Hさん	K・Kさん				
		Y・Tさん	T・Yさん	T・Tさん				
	生活介護Ⅲ (個別支援)	K・Hさん	T・Tさん	M・Kさん	11名	○M・K M・A		
		A・Sさん	S・Sさん	I・Hさん				
		S・Mさん	K・Kさん	H・Hさん				

		N・Hさん	I・Gさん			S・Y N・K
	生活介護 IV (しいたけ)	M・Mさん	I・Kさん	I・Rさん	18名	○M・T K・T K・M
		T・Tさん	I・Hさん	U・Kさん		
		M・Mさん	H・Yさん	W・Tさん		
		Y・Mさん	Y・Hさん	N・Kさん		
		O・Sさん	A・Kさん	S・Kさん		
		K・Yさん	B・Kさん	Y・Kさん		
	就労継続B型	M・Hさん	K・Yさん	A・Mさん	7名	○F・M M・K
		S・Yさん	S・Kさん	S・Yさん		
		N・Tさん				
	養護学校	E・Hさん			1名	

## 2. 各活動グループの活動状況について

### ①生活介護I(生き生き)グループ

#### ○目標(重点目標)

- (1) 楽しみながら活動に参加出来るように、内容の充実を図る。
- (2) 利用者の方の特性に合った、スケジュールやリハビリプログラムを作成する。
- (3) 散歩や、身体機能の維持を目的とした運動に取り組む。
- (4) レクリエーション活動を随時取り入れ、心身のリフレッシュに努める。

#### ○どのような取組みを行なうか

- (1) 利用者の方の特性に合った、個別課題(編み物、ビーズ手芸、学習ドリル、パズル、マッチング等)を提供、内容の見直しを随時、行う。
- (2) 個別のリハビリプログラムを作成し、エクサバイク、マルチホームトレーナ、ハンドグリップやゴム紐等の運動器具を使用し、身体機能を維持する運動や、ストレッチ、散歩を行う。場合によっては、見直しを行う。
- (3) 利用者の方とのコミュニケーションを図り、外出、レクリエーション等のニーズを引き出し、取りまとめ、立案し実施する。

#### ○後期の取組みに対する評価

- (1) 利用者の方の特性に合った、個別課題(編み物、ビーズ手芸、学習ドリル、パズル、マッチング等)を提供、内容の見直しを随時、行った。
- (2) 個別のリハビリプログラムを作成し、身体機能維持の運動(ストレッチ、ハンドグリップや散歩、ゴム紐等の運動器具)を行った。著しい、身体機能の低下は見られておらず、楽しみながら、行うことが出来ていた。また、温泉を活用したフットバスを取り入れ、身体が温まったことで、リフレッシュすることが出来た。
- (3) 利用者の方とのコミュニケーションを図り、外出(畑の水やり、雑草取り等)の機会を捉え、散歩についても随時行った。また、レクリエーションについては、外出以外で企画をしたが、工夫が必要であったことを反省している。休憩時の、飲み物やお菓子については、利用者の方の希望を聞くことで、意思疎通が図られ、活動に参加する楽しみに繋げることが出来た。高齢の方が多く、ゆったりとした時間の中で、一人一人の動きを見極めながら、対応したが、意欲を持ち参加することが出来た。

## ②生活介護Ⅱ(創作・軽運動)グループ

### ○目標(重点目標)

- (1) 楽しんで活動に参加出来るように個々に応じた創作活動を設定する。
- (2) 散歩や歩行訓練などの身体を動かす活動を取り入れ、身体機能の維持とストレス軽減・健康維持に努める。

### ○どの様な取組みを行なうか

- (1) 個々の能力や興味がある事、季節に応じた創作活動の内容を設定する。また、完成品を父母会等で配布を行ない、学園内で展示する事で、活動意欲の向上に繋げる。
- (2) 散歩や軽運動を取り入れ、健康維持に努める。
- (3) レクリエーションについて、定期的実施する事で、心身のリフレッシュを図る。

### ○後期の取組みに対する評価

- (1) 利用者の方の希望や特性に応じて、ドリル・アクリルたわしの作成・行事等に使う創作物を作成し、取り組む事が出来た。  
また、障がい児親の会への作品の配布や作成物の掲示を行なうことによって、意欲向上に繋げる事が出来た。
- (2) 気候が良い時には散歩を提供しており、顕著な健康機能の低下する事は見られなかった。
- (3) 3月にレクリエーションを実施し、心身のリフレッシュが出来たと共に、活動に向けての意欲向上に繋げる事が出来た。

## ③生活介護Ⅲ(個別支援)グループ

### ○目標(重点目標)

TEACCHプログラムの理念を取り入れた支援を提供しながら見通しの持てる活動を提供する。また、地域とのネットワーク作りを行なう。

### ○どの様な取組みを行なうか

- (1) 個別課題を定期的に更新する。
- (2) 体を動かす事でストレスを発散し、安定した時間を過ごしてもらう。また、定期的にレクリエーションを実施する事で気分転換を図る。
- (3) 町内の小・中学校の特別支援学級の担当者と連携を図り、自閉症(傾向)者に一貫した支援が出来る様、勉強会や見学会を行ない、地域のネットワークを作る。

### ○後期の取組みに対する評価

- (1) 定期的に新しい課題を作り見直しを行なうことで、意欲を持って参加することができた。また、来年度は余暇課題を今年度以上に充実させるために、担当職員間で話し合いを行なっている。
- (2) 散歩や除雪、レクリエーションを提供することで、ストレスを発散し安定した時間を過ごすことができた。
- (3) 特別支援学級の担当者で話し合いを設けることができ、来年度に向けて互いの施設、学校を見学する予定である。また、今後において、定期的に勉強会等を行ない、地域のネットワーク作りを行なう。

## ④生活介護Ⅳ(生産活動)グループ

### ○目標(重点目標)

- (1) 椎茸の品質の安定及び、委託販売店に安定した供給が出来るように、計画的に椎茸栽培を行なうように努める。
- (2) 活動メニューを個々の利用者の方に設定し、椎茸の栽培を通して活動に対する意識を養う。また、活

動に対する基本的な動作が身に付けられるように支援する。

- (3) レクリエーション活動を適宜に取り入れ心身のリフレッシュに努める。
- (4) 冬期間、活動棟周辺の除雪作業を中心に行ない健康の増進に努める。

○どの様な取組みを行なうか

- (1) 椎茸の栽培に関わる活動を分担して提供する事で、活動に対する意識を高める。
- (2) 椎茸栽培については、ほだ木の運搬、椎茸採取、椎茸のパック詰めを中心にそれぞれの方にあつた活動を提供する。
- (3) 適宜に作業棟、椎茸ハウス内の掃除を行なう。
- (4) レクリエーション活動を適宜行ない、気分転換を図る。
- (5) 冬期間、活動棟周辺の除雪作業を中心に行ない健康の増進を図る。

○後期の取組みに対する評価

- (1) 椎茸栽培については、計画的に椎茸栽培を行なう事で委託販売に安定した供給を行なう事が出来た。
- (2) 活動については、個々に活動内容を伝える事でスムーズに取り組む事が出来ていた。
- (3) 3月8日にレクリエーションを実施する事で心身のリフレッシュや活動に対する意欲を高める事が出来た。
- (4) 冬期間の除雪作業については、適宜に行なう事で身体機能の維持に努めた。

就労継続支援B型

○目標(重点目標)

- (1) 利用者の方の適性を見極めそれぞれに合った活動を提供する事で、仕事に対する楽しさや責任、給与を得る喜びを感じてもらう。
- (2) 日中活動に対して基本的な姿勢(挨拶・活動に臨む姿勢など)を養う。
- (3) 前期にレクリエーションを行なえなかった為、適宜実施する。

○どの様な取組みを行なうか

- (1) 調理実習や接客練習、椎茸栽培、石鹼の製造、学園周辺の除雪作業を中心に行ない、仕事に対する楽しさや給与を得る喜びを感じてもらう。また、それぞれの適正にあつた活動を提供する事で個々の能力アップを図る。
- (2) 前期にレクリエーションを行なえなかった為、実施し心身のリフレッシュを図る。

○後期の取組みに対する評価

- (1) 調理実習や接客練習、椎茸栽培、石鹼の製造、学園周辺の除雪など様々な活動に取り組み、給与を得る事で仕事に対する楽しさや責任を感じて頂いた。また、活動を行なう際は、個人の特性に合わせた活動を提供する事で個々の能力向上に繋がった。
- (2) レクリエーションを実施する事で、心身のリフレッシュを図った。